

令和8年2月9日

## 継続的改善のための IR/IE セミナー2026 の開催について(第2次案内)

大学評価コンソーシアム  
九州大学 基幹教育院 次世代型大学教育開発センター

### 1. はじめに

今年度の継続的改善のための IR/IE セミナーを、JR 博多シティ会議室(福岡市)にて、2月に開催いたします。IR 初級者向け、IR・評価・内部質保証担当者向けに、実践的な内容の3つのセッションを用意しました。すべてのセッションを対面で実施します。年度末の慌ただししい時期かと存じますが、ご都合がございましたらぜひお越しください。

IR 初級セッションは九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター「次世代型大学教育開発拠点」の事業として開催します。また、こちらのセッションのみならず、運営全体について九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターの支援を受けて開催します。

### 2. 日時

令和8年2月26日(木)10:00~15:45

### 3. 会場

会場:JR 博多シティ 9階会議室1 および 10階会議室 CD

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/access/>

〒812-0012 福岡県福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR 博多シティ内(アミュプラザ博多 9F・10F)

会場では、JR 博多シティの Wi-fi サービス(無料)がご利用いただけます。

### 4. 対象と参加費

- ・ 大学評価、IR およびその関連業務に従事する方を対象とします。営利企業の方でも参加いただけますが、大学評価および IR 現場に関する情報交換が可能な方に限ります(情報交換にあたっては事前に顧客のみなさまから公表に関する承諾などを得るようにしてください)。
- ・ 参加費は無料です。

### 5. 今後のスケジュール

- ・ 参加申込は1月20日(火)13時から2月19日(木)17時まで受け付けます。
- ・ 2月24日(火)に資料公開予定です。メールでお知らせします。(原則的に、紙での資料配付はありません)。

## 6 . セッションのご案内

2月26日(木)	
10:00～13:00	<p>[R1] IR 初級セッション（拠点事業） 定員 30 名 [九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターの拠点事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IR 初級のセッションでは、アセスメント関連（学生調査、学習成果分析等）の演習も交えながら実践的な手法を学んでもらいます。</li> <li>事前課題を出しますので開始前までに対応をお願いします（受付終了後案内いたします）。</li> <li>IR 担当者の経験が1年未満の方に求められる知識、技術レベルを想定した内容となります。</li> <li>昨年夏に開催した大学評価・IR 担当者集会 2025 とは別内容となります。 小湊卓夫(九州大)、上畠洋佑(新潟大)、紺田広明(福岡大)、齋藤渉(東北学院大)、竹中喜一(近畿大)、田中秀典(宮崎大)、藤原宏司(山形大)</li> </ul>
10:00～13:00	<p>[R2] IR/内部質保証実務担当者セッション 定員 30 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5 名の話者が提供する事例を、原則的に全問回答の質疑応答で掘り下げることで、実践力向上を図るセッションです。IR だけでなく大学評価、内部質保証に関する実践事例も想定し、完了した事例だけでなく現在進行形のものの報告も可としています。プログラムは別紙 2 をご覧ください。</li> <li>今回は、オンライン質問感想票を試行導入します。PC、スマートフォンなどインターネット接続可能な端末をご持参ください。 山本鉦(九州工業大)、浅野茂(山形大)、荒木俊博(札幌大)、飯田真由美(東洋英和女学院大)、江端弘樹(周南公立大)、大野賢一(鳥取大)、鈴木拓人(筑波技術大)、土橋慶章(神戸大)、橋本智也(大阪公立大)、藤井都百(九州大)、山咲博昭(奈良女子大)</li> </ul>
	休憩
14:15～15:45	<p>[ER1] 大学評価・IR 担当者向け合同相談会 定員 60 名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国立大学法人においては、第 4 期終了時評価への対応と並行し、次期(第 5 期)中期目標・計画の立案に向けた検討が本格化し始める時期に差し掛かっています。また、大学機関別認証評価においても第 4 サイクルが開始され、内部質保証の実効性がより厳格に問われるなど、各大学が新たなフェーズへの対応を迫られています。</li> <li>こうした中、日々の業務の中で感じる疑問を気軽に持ち寄れる場として、「合同相談会」を開催します。就活ブースのようなオープンなスタイルとし、大学評価(国公立大学向け)、大学評価(私立大学向け)、IR、の 3 つのテーマを設定しました。</li> <li>各ブースには実務経験のあるスタッフを配置し、皆様の素朴な悩みや具体的な相談をお聞きします。わざわざ質問するほどではないけれど少し気になる、といった、肩ひじ張らない情報交換から新しい気づきを得て</li> </ul>

	<p>いただければ幸いです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加申込時に、興味のあるテーマを上記 ~ から選んで、お知らせください。</li> <li>出入り自由。最大延長 16:00。</li> </ul> <p>大野賢一(鳥取大)他</p>
--	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 7. 過去の開催実績について

以下の web サイトをご覧ください。

大学評価コンソーシアム

[https://sites.google.com/view/jcachel/activityreport/継続的改善 ir-ie セミナー](https://sites.google.com/view/jcachel/activityreport/継続的改善ir-ieセミナー)

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/prof>

## 8. 申し込み方法

- 九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センターが設定する申し込みサイトにおいて、1月20日(火)13時から受付を開始しています。締切は2月19日(木)17時です。
- 受付期間中であっても、定員に達した時点でセッションごとに申し込みを締め切ります。キャンセル待ちは受付ません。
- 申し込み後に参加を取り消される場合は、「9. 問い合わせ先」に記載したメールアドレスへ必ずご連絡ください。
- セッションごとの URL は以下の通りです。午前中は同じ時間帯に複数のセッションが並行開催されますが、参加できるのは1つのみです。午前 + 午後の参加をされたい場合は、それぞれのセッションで申し込んでください。参加できない組合せでの申し込みがあった場合、申し込みを取り消させていただきますので、予めご了承ください。
- 申し込み方法の詳細は、別紙1をご覧ください。

午前		定員
10:00 ~ 13:00	[R1] IR 初級者セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/439">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/439</a>	30名
10:00 ~ 13:00	[R2] IR/内部質保証実務担当者セッション <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/440">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/440</a>	30名
午後		定員
14:15 ~ 15:45	[ER1] 大学評価・IR 担当者向け合同相談会 <a href="https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/441">https://ueii.kyushu-u.ac.jp/fdp/event/details/441</a> 申込フォームで関心のあるテーマをお知らせください。	60名

- なお、各種研修等のご案内などを希望される方は、以下のメーリングリスト(登録費・会費無料)にご登録ください。

大学評価コンソーシアム(会員登録):大学評価や IR に関する研修

<https://sites.google.com/view/jcache/会員登録変更申請>

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター(拠点 ML 登録):FD/SD および専門的職員(アドミッション、カリキュラム、IR)に関する研修

<https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~cfde/maillinglist>

## 9 . 問い合わせ

< 申込に対する問い合わせ >

kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp

九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター

(タイトルに【2/26 IR】と記載して頂けますと幸いです。)

< 内容に対する問い合わせ >

jcache\_m2024@googlegroups.com

大学評価コンソーシアム運営担当

fujii.tomo.066@m.kyushu-u.ac.jp

九州大学 IR 室 藤井都百 (大学評価コンソーシアム庶務担当副代表幹事)

別紙 1 申込フォームについて

「8 . 申し込み方法」のセッションごとの申し込み先URL一覧をクリックする。

ご所属の大学・機関等に応じて、適切なものを選んでクリックしてください。

**■お申込み**

九州大学関係者の方の参加登録はこちら      一般の方の参加登録はこちら

<入力画面>

「所属・役職等」の欄には、大学名も含めて記載してください。

今回 ER1 に申し込まれる方は、希望するテーマを記入してください。

ここで入力いただいたメールアドレスに、当日配布資料や開催に関する案内をお送りしますので、間違いなく記入してください。

お名前 ※	九大 花子
所属・役職等 ※	例) AA大学 ○○室 室員 例) BB大学 △学部 教授
メールアドレス ※	Hk9999@~~
参加動機をおきかせください（簡単に構いません）	IR担当者として情報収集のため。
お名前のおよみがなをお書きください ※	きゅうだい はなこ
参加を希望されるテーマ ①大学評価（国公立大学向け）、②大学評価（私立大学向け）、③IRのいずれかをご入力ください。 ※	ER1は③を希

ERIに申し込まれる方は希望するテーマを記入してください

この欄には大学名も記入してください

<確認画面>

内容に問題がなければ、「登録」をクリックしてください。

登録したメールアドレスに確認メールが来ます。  
（しばらく待っても届かない場合には、下記のお問い合わせ先にご連絡ください。）  
kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp  
タイトルに【2/26 IR】と記載して頂きますと幸いです。）

登録したセッションをキャンセル/ご欠席される場合には、九州大学基幹教育院次世代型大学教育開発センター（kyoten@artsci.kyushu-u.ac.jp）までお知らせください。特に、グループワークがあるセッションでは、グループ分けを実施していますので、無断で欠席することのなきようお願いいたします。

## 別紙 2

### [R2] IR/内部質保証実務担当者セッション プログラム

#### 教学 IR における探索的分析のための学生データ一元化

○阿部春樹(神戸大学 戦略企画室 総合 IR 戦略部門)

昨今、各大学にはミッションや機能強化の方向性に応じた取組が求められている。神戸大学の教学 IR の一環として、学士課程から博士後期課程まで一貫して本学で学修する学生の将来的な増加を念頭に、過去の進路動向を探索的に分析してきた。この分析に必要なデータ一元化の過程では、昨年度の本セッションで報告された名寄せの課題など、各工程で生じる実務上の困難に試行的に対応を重ねた。本報告ではその内容と今後の展望を紹介する。

#### 総合的な学生支援に係る取組に対する IR の支援事例

学内に散在する学生データの統合と分析を通じて

鈴木達哉(山形大学研究情報部)、山本美奈子(山形大学学士課程基盤教育院)、藤原宏司(山形大学教育推進機構)、浅野茂(山形大学教育推進機構)

山形大学では、総合的な学生支援に資する「総合学生支援機構」を令和 4 年度に新設し、障がいのある学生の修学支援、学生生活支援、キャリア・就職支援等の全般的な支援に取り組んでいる。昨今、特に障がいのある学生に対する効果的・効率的な学生支援を模索しており、学内に散在する各種学生データを統合して分析するため、IR 部門との連携を加速させている。本報告では、「大学生生活困りごと調査」をはじめとする学生面談等の記録や成績を統合した分析を実施するに当たり、具体的なデータ統合のプロセス、分析結果の概要等を紹介し、参加者との討議を通じて今後の展開等を検討したい。

#### 外部機関との連携事業を内部質保証にどう位置づけるか 企業との連携事業の定着プロセスを事例に

野村佳子(筑波技術大学 視覚障害系支援課)、鈴木拓人(筑波技術大学 IR 室)

大学における社会連携活動は重要性が認識される一方、内部質保証の枠組みに明確に位置づけられていない場合が多い。本発表では、筑波技術大学とシュプリング・ネイチャー・ジャパン等との連携事業を事例に、外部機関との連携をどのように評価し、継続的な改善につなげるかを検討する。偶発的な接点から組織的な連携へと発展させるプロセスにおける課題と工夫を報告し、社会連携の質保証に向けた示唆を共有したい。

#### 総合大学における初年次教育科目の学習成果・学習経験・実施形態の変更に伴う参照基準の提示

○橋本智也(大阪公立大学 高等教育研究開発センター)

総合大学である大阪公立大学では、分野横断的な学びの機会のひとつとして、全学部・学域混成で必修の初年次教育科目を開講しており、2026 年度から実施形態(単位数や開講キャンパス等)が変更される。変更後の状況把握に備え、2022～2025 年度の受講生アンケートを用いて、到達目標の自己評価と学習経験を分析し、今後の比較のための参照基準を整理した。本発表では分析結果を報告するとともに、変更前後の検証等について参加者と意見交換を行いたい。

#### 初年次アンケートに基づく学業継続に影響を及ぼす設問の分析

○相川勝(宮崎大学)、吉田和子(宮崎大学)、田中秀典(宮崎大学)、小湊卓夫(九州大学)、藤原宏司(山形大学)

宮崎大学では、初年次、2年次、卒業次の3回に渡り全学部統一の学生アンケートを実施している。この調査結果は、学内外へ公開しているが、単純集計やクロス集計に留まっており、データを十分に活用できているとは言えない。そこで、学生の学業継続を支援するため、退学・留年・休学などのリスクの早期発見を目的として、今回は初年次アンケートの集計結果を用い、リスク要因(予兆)に關与する設問を探索する試みを報告する。

○は当日報告者